

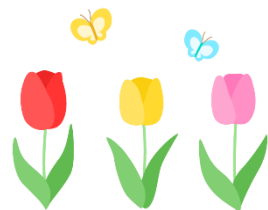
野馬土の新聞

(Web版)

2022年4月号

特定非営利活動法人
野馬土

相馬市石上字南白髭320
TEL.26-8437
FAX.26-8203



三月十一〜十三日の三日間、東京・日比谷公園で開催された「ピースオンアース」にてブース出展を行いました。東日本大震災から九十一年を迎えるこの日、会場には慰霊と平和への祈りとして三十一本の旗が設えられ、野馬土ブースではふくしまを体感できる視察十ものづくり体験プラン「ふくしまル」のPRと、直売所を取り扱っている県産品や小高区の復興アイテムの物販を実施。地震発生時刻には、長年被災地支援に関わられた加藤登紀子さんからミュージシャンの皆さんと共に来場者全員で黙祷を捧げました。最終日の十三日には、三浦代表がトークブースに登壇。いとうせいこう氏など再エネ事業の実践者らと未来のエネルギーと第一次産業の可能性についてセッションし、大いに盛り上がりを見せました。主催者発表では来場者は六千人。数日後の十六日にまたもや大地震に見舞われた地域の「あれから」と「これから」には、未来を選択する人たちへ伝えたいことがたくさんつまっています。これからもその役割の意義を大切に紡いで参りたいと思います。



NIKINの取材中

モミガラ堆肥づくり

ワークショップ

四月二日、南相馬市小高区にて福島大学の金子教授ご指導のもと「モミガラ堆肥づくりワークショップ」が開催されました。材料は、作付けを行う場所の土・モミガラ・米ぬか・水の五つです。それぞれの材料をスコップを使ってまんべんなく混ぜ合わせていきます。これがなかなかの重労働。参加者みんなで代わりばんこに混ぜました。肥料代が高騰する近年、自宅で揃えられる材料で作ることができ匂いもほとんどなし、良いこと尽くめのモミガラ堆肥に大注目です！



家族農林漁業プラットフォーム オーガニック委員会 設立総会

かねてより家族農林漁業プラットフォームふくしま浜通りの活動の一環として準備してまいりました「オーガニック委員会」が発足し、四月二日モミガラ堆肥づくりワークショップと同日に小高区金谷・グリーンヴェイルドにて設立総会を開催しました。民間稲作研究所で研修された鹿島区の豊田寿博さんを委員長に選出、地域循環と持続可能な生産と消費に具体的に取り組むプラットフォームがスタートします。ワークショップに引き続き福島大学の金子教授と、相双農林事務所の有機農業担当・高津頭一氏に来賓としてご参加いただき、基調講演として実践に役立つ様々な情報や先行事例が紹介され、農業一年生から大ベテランまで揃った参加者のみなさんからの自己紹介では、それぞれの経験やこれからの農業への想いが一言ずつ寄せられました。今後の活動計画については、子どもたちとの田んぼの生き物調査など新企画の提案も上がり、金子先生からアドバイスいただいた耕作放棄地を活用してのお試し農場の設置についてもこれから話し合いが始まります。

